

## 関西支部第152回定例研究会

と き 1991年2月16日(土) 15:00~17:00

ところ 神戸大学教育学部音楽棟1階 C-111教室

神戸市灘区鶴甲3-11 ☎078-881-1212 内線7238(掛断室)当日は土曜のため13:30まで

交 通 阪急六甲駅(普通のみ乗。旗幡からの場合は西宮口まで特急に乗り、普通に乗り替えてください。)、またはJR六甲道駅(快線)、または阪神御影駅(特線)から、市バス36系統「鶴甲団地行」に乗り、神大教育学部前にて下車。(阪急六甲から約10分、JR六甲道から約15分、阪神御影から約30分)音楽棟は門を左へまっすぐ約100メートル、左手。

担 当 岩井正浩(司会) 岡部芳広(会場・企画調整)

15:00~15:50〔研究発表〕

『四万十川上・中流域のくらしと音楽(1)』

——高知県十和村大道地区』(神戸大学岩井ゼミ共同研究)

発表者: 岡部芳広・黒田彩子(神戸大学大学院)

司 会: 岩井正浩(神戸大学)

—— 休 憩 ——

16:10~17:00〔研究発表〕

『和歌に現れた楽音と自然の音との関係(仮題)』

発表者: 中小路駿逸(追手門学院大学)

司 会: 岩井正浩(神戸大学)

研究会終了後、懇親会を予定しております。ぜひともご参加ください。

\*時間: 18:00~20:00

\*会場: 「陣」(鍋物) ☎078-851-8141

阪急六甲駅から線路沿の道(総の瀧)を東へ(大阪方面へ)約2分

\*会費: 5000円程度

\*参加ご希望の方は2月5日(火)までに 黒田までご連絡ください。

お電話は夜12時頃までをお願いします。留守番電話になっている場合は、所属とお名前をはっきり録音しておいて頂ければそれで結構です。

\*お申込後のキャンセルは必ず2月13日(水)までをお願いします。

\*大学に所属の方はとりまとめてご連絡ください。

このたびの選挙で、私たち7人が理事として関西支部の運営にあたることになりました。前年度とすっかり顔ぶれが変わってしまい、一見、清新と見えるかもしれませんが、あるいは、初めての理事就任者が過半数をしめるので、大丈夫かな？とチョッピリ危惧の念を抱かれるかもわかりません。おそらくどちらも少しずつ当たっていると思います。

それから、選出されました関西支部所属の新しい理事の互選により、これからの2年間、私が支部長を務めることになりました。林謙三、片岡義道というふたりの大先輩が30有余年にわたって支部長だった後だけに、荷の重さを感じずにおれません。それはそれ、と割り切って考えることにしています。第一、今後はこれまでのように支部長在任が長期にわたることもなくなるでしょう。私自身、あまり面倒見のいい働き者ではありません。しかし、今期の理事の諸先生も前期までと同様に立派な方々がそろっているので安心していきます。心丈夫なのはベテラン、新進の参事です。きっとテキパキと事務を片付けていってくれるでしょう。それに思慮深い地区委員や参与の先生方の助けも得られるはず。そのようなわけで、すっかりこれらの皆さんに頼っている、というのが私の現在の心境です。もちろん、これからの2年間はあまりさぼらず、逃げ出さずに、私なりに努めたく思っています。そして、支部会員みんなの力で、たのしく活動をつづけていきたいと願っています。

ぐるっと見渡したところ、30余年の間に、関西支部も随分と様変わりしてきました。最初、京阪神だけに限定したようなかたちでスタートしたのに、今では愛知、岐阜、富山から沖縄にかけての広い地域の各地にすぐれた研究者が散在して、活発な活動が始まりつつあります。今回の理事選出ひとつとってみても、7名中ふたりは中京地区、ひとりは沖縄に在住です。そして、すでに存じのように、沖縄地区では年3回の定例研究会が発足するまでに発展しました。こうなると、もはや関西支部という名称自体、問題になってきます。

このような新しい現象は本学会全体にとっても、また、私たちの学問にとっても、喜ばしい出来事です。しかし、その一方で、学会というものが昔ほど夢と希望に光りかがやく存在ではなくなってきたように感じられるのもうひとつの現象です。こうした時代の流れを私たちは乗り越えていくことができるのかどうか、難しい曲がり角にきているように思えるのです。

それを乗り越えていけるとしたら、やはり清新な若さによってでしょう。この場合、年齢の若さが問題なのではなく、心の若さであり、意欲と情熱です。多分、これしかないと思っています。どんどん学会の場を踏台として、自分自身のために活用していったらいいと思うのです。そのためのお役に立つことができれば、私たちは幸いです。

## 第42回大会のお知らせ

(社)東洋音楽学会第42回大会を下記の通り、開催致します。多数ご参加ください。

【日時】1992年10月25日(金)～27日(日)

【会場】第1日・2日：龍谷大学深草学舎 〒612 京都市伏見区深草塚本町67 ☎075-642-1111  
京阪電車深草駅下車すぐ。またはJR奈良線稲荷駅(駅から徒歩2駅)・地下鉄くいな橋(駅から徒歩3駅)から徒歩圏内。

第3日：西本願寺(浄土真宗本願寺派本山) 〒600 京都市下京区堀川通花屋町下ル  
京都駅から徒歩圏内。

### 【内容】

第1日 ○公開講演会「仏教音楽」その1

- ①声明の講演と実演「豊山派声明」(可能ならば天台声明も含める)
- ②解説付き実演「壬生狂言」(演目は未定)
- ③解説付き実演「六斎念仏」

第2日 ○研究発表

- 第22回総会
- 公開講演会「仏教音楽」その2  
解説付き実演「坂東節」
- 懇親会(会場は龍谷大学内)

第3日(於：西本願寺)

- 解説付き実演「雅楽入り作法による声明」(雅亮会が協力。演目は未定)
- 国宝・重文等特別拝観
- 名庭滴水園飛雲閣にて茶菓接待

### 第42回大会研究発表募集

口頭による発表を募ります。内容は、今回のテーマの「仏教音楽」に限定する必要はありません。ふるってご応募ください。

発表時間：30分(口頭発表20分、質問10分)

申 込：題目及び要旨(400字×3枚=1200字以内・横書)発表者氏名、連絡先住所、及び電話番号、使用機器等を明記の上、書面にて下記の大会事務局に申し込んでください。

申込締切：1991年6月14日(金)消印有効、あるいは17日(月)到着分まで有効

決 定：締め切り後に大会実行委員会で検討し、その結果を申込者に通知します。

〒559 大阪市住之江区南港中4-4-1 相愛大学音楽学合同研究室気付

東洋音楽学会 大会事務局

☎06-612-5900(内線331)

## 連続講座「研究の過去・現在・未来」がスタートします

これまで本学会または関西支部の定例研究会では、いろいろな講座を開いてきました。私たちに、その時どきの先端をいく研究成果を公表する研究発表があります。これは学会が本来おこなうべき基本的活動といていいものです。だからどの学会でもこれを欠かすことはありません。それとは別に、シンポジウムなどの討議の場や、講演会、見学会、それに幾分か啓蒙的色合いを加味した企画などもおこなわれたりします。そうしたひとつとして、私たちのところでは講座を催してきました。こうした講座のなかには、10年、20年の時を隔てて、再度登場したものがえあります。たとえば、前年度にやっていた記譜法の問題などです

考えてみれば、学問が進展すればするほど、細分化と専門化がすすむのは常です。逆にいえば、それが原動力になって、学問が進展するという状況があるのを否定できません。しかし、そのことが少なからず共通の理解を妨げ、閉鎖的な状況を生んだりして、めぐりめぐって、我が身に弊害となって降りかかってきたりしかねないのです

私たちの研究は日ごとに進歩あるいは変化しつつあります。ちょっと油断していると、昨日の常識は今日の非常識になりかねません。

そこで時には立ち止まって、自分の身の回りを見回してみるのも大切なことかもしれません。自分が取り組んでいる分野以外の領域で、今なにか問題になっているのか、緊急の課題なのか、といったことを、過去の歩みを検証し、未来への展望の上に立って、しっかりと見極めることができれば、自ずから共通の理解が生まれ、ひいては自分がめざしている研究にも役立つところがあるのではないのかと思うのです。

ベテランも新進気鋭も入り交じって講じたり、討議しつつ、それぞれの研究がどの方向へ向かおうとしているのか、静かに熱く検分してみようではありませんか。(井野辺 潔)

## 関西支部新役員紹介(候補者)

理事[支部長]井野辺潔(大阪音大教授)	参与 牧野英三(奈良教大名誉教授)
理事[総務]岩井正浩(神戸大助教授)	参与 馬淵卯三郎(大阪教大教授)
理事[機関誌]大西友信(愛知教大教授)	参与 吉永孝雄(大阪経法大客員教授)
理事[総務]金城 厚(沖縄県芸大助教授)	参事[総務]大東純子
理事[総務]久保田敏子(龍谷大教授)	参事[総務]岡部芳広(神戸大院生)
理事[機関誌]藤井知昭(国立民族学博教授)	参事[機関誌]長方正博(相愛大講師)
理事[経理]水野信男(兵庫教大教授)	参事[総務]小野慰子(相愛大助手)
監事 内田るり子(沖縄県芸大教授)	参事[総務]久万田晋(沖縄県芸大助手)
顧問 片岡義道(京都薬科大教授)	参事[経理]田井竜一(大阪大院生)
参与 酒井 諄(相愛大教授)	参事[総務]高岡結貴(大阪大院生)
参与 谷村 晃(大阪大教授)	参事[例会]寺内直子(東京芸大院生)
参与 角田一郎	参事[総務]廣井栄子
参与 仲 芳樹(相愛大名誉教授)	参事[総務]南谷美保(西宮福弘社講師)
参与 難波 正(岡山大名誉教授)	参事[総務]由比邦子
	参事[総務]渡辺浩子(大阪音大総務)

今後の定例研究会開催予定、および発表の公募

第153回(予定)	1991年 4月20日	愛知教育大学	発表申込締め切り	2月15日
第154回(予定)	1991年 6月15or22日	大阪音楽大学	発表申込締め切り	2月15日
第155回(予定)	1991年 9月28日	国立民族学博物館	発表申込締め切り	7月10日
第42回大会	1991年10月25日～27日	龍谷大学	詳細は別項を参照	
第156回(予定)	1991年12月14日	相愛大学	発表申込締め切り	7月10日

◆申込方法

連続講座・フリーの別、発表の種別(研究発表・調査報告・資料紹介・研究演奏の別)発表題目、使用希望機器、希望日、所属、氏名、連絡先、を葉書に明記の上、下記宛てにて送付ください。申込多数の場合など、必ずしもご希望に添えないこともありますのであらかじめご了承ください。

◆送り先

〒657 神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学教育学部岩井研究室 東洋音楽学会例会係

編集室より 第8号編集担当 岡部芳弘

役員人事が刷新され、関西支部の役員の色ぶれが大きく変わりました。私も初めて役員に就任し、この支部だよりの編集を担当いたしました。何分初めてのことなので不備な点も多いことと思います。お気付きの点がございましたらどうぞ遠慮なくお知らせください。

支部だよりでは自由な投稿も歓迎いたしますので、ふるってご投稿ください。なお原稿は、手書きでも結構ですが、ワープロをご利用の場合は編集の都合上、NEC・文豪シリーズ、サンヨー・サンワードシリーズ、エプソン・ワードバンクシリーズのうちどれかをご使用であれば、プリントアウトした原稿とフロッピーディスクを一緒にお送りいただければ大変助かります。その他の機種の場合、プリントアウトした原稿だけお送りください。なお、ワープロ原稿の書式はB5版縦・横書きで、1行40文字×40行でお願いします。

4月の第153回定例研究会は愛知教育大学で行われます。申込締め切りが迫っておりますので、発表を予定されている方はなるべく早い目にお申込ください。実施の要領は次号の支部だより(4月上旬発刊の予定)でお知らせいたします。

支部だよりの今後の発刊予定は次のとおりです。

第9号 1991年4月上旬発刊予定(4月・6月定例研究会案内)原稿締め切り 2月15日

第10号 1991年9月上旬発刊予定(9月・12月定例研究会案内)原稿締め切り 7月10日

支部関係の問い合わせ先

関西支部 〒559 大阪市住之江区南港中4-4-1 相愛大学音楽学合同研究室内

☎06-612-5900 内線331

定例研究会・支部だより

〒657 神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学教育学部岩井研究室

☎078-881-1212 内線7238